

“探しもの”

「探しものは何ですか？見つけにくいものですか？カバンの中もつくえの中も探したけれど見つからないのにまだまだ探す気ですか？それより僕と踊りませんか？夢の中へ夢の中へ行ってみたいと思いませんか？」井上陽水の夢の中への一節です。妻は、私を探しものの天才と書いてくれます。妻が失った探しものをよく見つけるからです。「万歩計半分以上 探しもの」というサラリーマン川柳があります。身に染みます。人は、人生の多くの時間を探しものに費やしています。失くすことがなかったらもっと他のことに時間を使えそうです。取税人ザアカイは、自分を失っていましたが、神に見いだされた時、生き方が変わりました。価値観が変わりました。すべてお金と考えていた人生が変わり、人のために自分の財産を喜んで使う人に変えられました。まず、神に私は何者なのかを教えてもらう必要があるようです。



もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、

わたしを見つけるだろう。わたしはあなたがたに見つけられる。主の御告げ。聖書